

宮城県業務説明会

民間土木

**Miyagi
Prefectural
Government**

業務紹介

道路や河川、ダム、公園、空港、港湾、広域水道・工業用水道・流域下水道などの設計や施設の整備、維持管理など

配属先

本庁各課（道路課、河川課、防災砂防課、港湾課、都市計画課 など）
地方機関（土木事務所、港湾事務所、ダム総合事務所、
広域水道事務所、下水道事務所 など）

自己紹介 兵庫県出身

H19.3月 **県外大学卒業**

H19.4月～ **民間建設会社 勤務**

ダム・トンネル・橋梁・大型土工事等の工事に従事（H19～R1まで13年間）

R2.4月～ **気仙沼事務所 道路建設第一班**

気仙沼市にある県管理道路の建設工事

R5.4月～ **道路課 橋梁整備班（副班長）**

橋梁の整備・補修に関する予算管理

転職動機

なぜ公務員だった？

景気に左右されず安定した給与であるため。

なんで宮城県庁を選んだ？

妻が宮城県出身であり、住居も宮城県にあるため。

担当した仕事

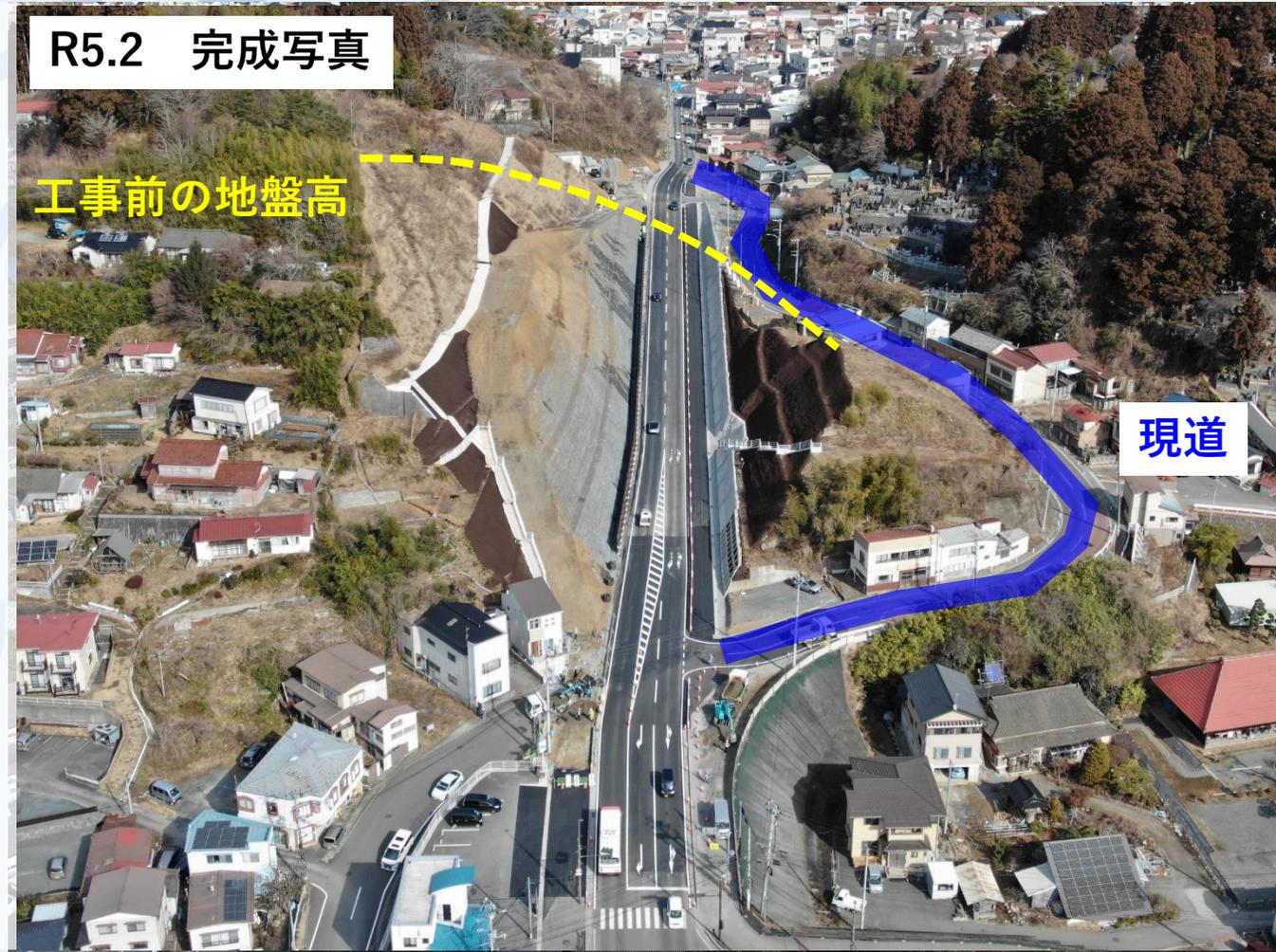
気仙沼土木事務所 R2.4～R5.3（3年間） 化粧坂道路改良工事

道路改良工事の工事監督

- ・大型土工工事
約12万m³切土

※切土とは…

土を掘削してトラックで他の
場所へ搬出することをいう。

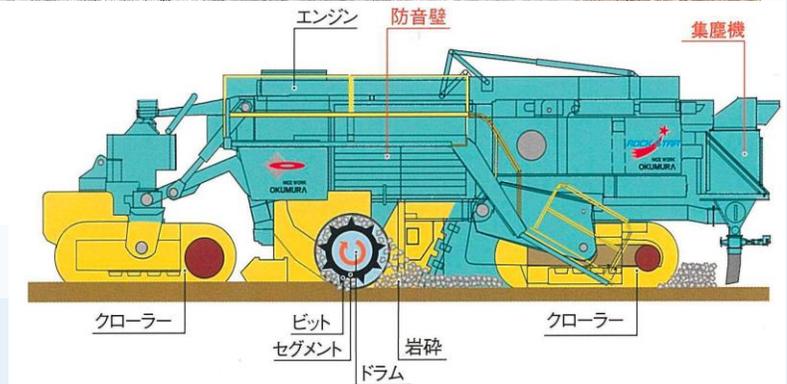


担当工事で工夫したこと

民家が近い場所で硬い岩盤掘削を実施するため施工方法を検討する必要性があった。
⇒ 日本に数台しかない特殊機械を用いて施工した。



岩盤切削機 構図
(国内で5台のみ)
全長12.9m 幅3.7m
高さ4.1m 重量133t



担当工事で大変だったこと

約12万 m^3 の切土を
するための盛土箇所を
探すのが大変であった。
⇒市役所の工事と
工程調整を行い
盛土に活用した。



やりがい

県民生活の向上・維持をするために
公共インフラを守る！

心掛けていること

民間で経験してきたことを例に挙げて
分かり易い説明を心掛けている。

前職とココが違った！ 前職の経験が役に立った！

有給休暇の使用頻度が違った

建設会社では有給休暇をほぼ使えなかったが
今では年間10日程度取得できている。

積算能力が役に立った

最初の仕事は工事発注になるので、積算の条件等を
理解しておくくと仕事が早くできる。

みなさんへのメッセージ

- ・土木職の仕事は、安全・安心な県民生活を支える非常に重要な仕事です！
- ・民間で経験したプロジェクトに対する進捗管理やコスト管理などはすぐに活かすことができる！
- ・自分に合ったライフワークバランスを考え、継続しやすい仕事とは何か考えてみては！